経営をよりよくしたい経営者様へ

経営カイゼンつうしん

今回の
テーマは
財務強化
その４

vol.20

1. 安全性ってなんだ？

企業の財務の安全性とは、その企業が将来的に持続可能な収益を生み出し、借入金を返済できる能力を持っていることを指します。この安全性は、収益性、流動性、財務レバレッジ、運転資本管理、資産の質、市場の競争力、規制コンプライアンスなどの要因によって影響を受けます。

収益性は、企業がどれだけ効率的に収益を生み出しているかを示す指標であり、売上高利益率、純利益率などがあります。流動性は、企業が短期の債務を返済するために持っている現金や流動資産の量を示す指標です。財務レバレッジは、企業が借入金をどの程度抱えているかを示し、借入金比率や債務資本比率などがあります。

運転資本管理は、企業が業務を遂行するために必要な資本を効率的に管理することを指し、適切な在庫量や売掛金回収期間の管理が含まれます。資産の質は、企業が保有する資産の品質や価値を示す指標であり、不動産、設備、知的財産などが含まれます。市場の競争力は、企業が市場でどの程度競争力があるかを示す指標であり、市場シェアや顧客満足度などがあります。規制コンプライアンスは、企業が法的規制に従っているかどうかを示す指標です。

以上のような要因を考慮して、企業の財務の安全性を評価することが重要です。財務の安全性が高ければ、企業は長期的な事業計画を立て、持続可能な成長を達成することができます。
と、自動生成AIは答えました！（笑）

2. 安全性で見るべき視点

３つ取り上げます！

まずは、毎月変わらぬ支出を賄えるだけの現預金があるか？
２~３ヶ月分くらいあると安心です。

次に、現預金残高と借入金のバランス。
現預金残高＞借入金なら超最高です！
実質無借金と言います。
だからといって、即座に全額繰り上げ返済なんて考えないでください。
現預金がないと、打ち手が打てなくなります。

最後に、未来への投資ができるだけの現預金があるか？です。
チャンスはいつ来るかわからない。
それを捕まえるためです！
ここは、ワタクシが書きました（笑）

みなさまへ、手紙を書くつもりで書きます！

3.自己紹介

国仙悟志（こくせん さとし）　１９７４年７月９日、札幌市生まれ。早稲田大学法学部卒業後、地方大手百貨店に入社し、店頭販売、販売促進、店舗運営、民事再生法手続関連部署にて勤務しました。
　在職中、室蘭店勤務で赴任していたときに、あまりにも時間があることがわかり、（正確に書くと、ビールと焼鳥が美味しく不摂生がたたり、健康診断の結果が悪く、人事部に呼ばれたのがきっかけ）産業能率大学経営情報学部通信課程を受け、卒業しました。勝間和代氏がメディアによく出ていたころで、早起きして勉強に励むという生活スタイルが話題になり、ワタクシも、早起きの習慣を手に入れました。このとき以来ずーっと早寝早起きを行っています。
　その後、中堅石油販売会社にて勤務し、その間に、中小企業診断士を取得し、２０１１年に独立開業、２０１４年に法人を設立しました。百貨店時代に経験したマーケティング、マーチャンダイジング（品揃え戦略）、プロモーション、企業再生、そして、石油販売会社で経験した中小企業の実体験。
これらの経験、さらには、開業後の活動、研究などが、今の仕事のベースになっています。

©中小企業診断士　国仙悟志　株式会社ブルームプラン